

公立大学法人広島市立大学理事長候補者の決定について

現理事長が平成31年3月31日をもって任期満了となるため、公立大学法人広島市立大学理事長選考会議で選考を行いました。その結果、若林真一現理事（企画・戦略担当）を次期理事長候補者とすることを決定し、理事長から広島市長へ次期理事長の任命を申し出ましたので、お知らせします。

1 選考経過（平成30年）

- 6月27日 第1回理事長選考会議（理事長候補者選考に係る日程及び公示案の決定）
- 6月28日 理事長候補者選考日程等に係る公示
- 6月29日～8月29日 理事長選考対象者推薦受付
- 8月31日 第2回理事長選考会議（理事長選考対象者の決定）
- 10月 3日 第3回理事長選考会議（書類審査、面接審査）
- 10月30日 第4回理事長選考会議（理事長候補者の決定）

2 選考理由

公立大学法人広島市立大学理事長選考会議は、理事長候補者の選考に当たり、「人格」、「学識」、「法人の経営管理能力」及び「大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力」という4つの審査項目に基づき、書類審査及び面接審査を実施した。

若林真一氏は、平成20年に教務・学生担当副学長に就任以来、10余年にわたり、教育研究担当理事・副学長、企画・戦略担当理事・副学長を歴任し、この間、平成22年の法人化、第1期及び第2期中期計画策定をはじめ、法人化後のガバナンス確立、また、「いちだい知のトライアスロン事業」実施や平和学研究科設置等の教育改革、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の採択・実施による社会貢献事業の充実など、法人経営及び大学運営において、主導的立場、重要な役割を担い、いずれも高い実績を挙げてきた。

また、理事・副学長職と並行して、多数の学術論文や国際会議での発表など優れた研究成果を積み重ねるとともに、学生・研究者の指導・育成に熱心に取り組む姿勢は、教育・研究者として高く評価される。

同氏は、誠実、温厚、沈着冷静であるとともに、本学及び学生に対する強い愛情を有していると認められ、さらに、幅広い識見を基に、様々な意見等を考慮しながら、本学の将来像を描き、その上で、率先して取り組む行動力、優れた統率力・指導力・調整力、これらを基にするリーダーシップを有していると認められる。

以上により、社会が大きな変革期を迎える中、また、本学が第2期中期計画を仕上げ、第3期中期計画を策定・実施していくという、本学がさらに発展していく上で重要な時期にあって、若林真一氏は本学の次期理事長として適任であると判断し、理事長候補者として選考した。